



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報厳重に管理いたします。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

担当者の所属・氏名 呼吸器外科 板東 徹

【研究責任者】

聖路加国際病院 呼吸器外科 板東 徹

【研究代表者】

福岡大学 呼吸器・乳腺内分泌・小児外科学講座 教授 佐藤 寿彦

**当院で肺切除の手術を受けた方を対象とした
近距離無線通信タグ(RFID)を用いた手術に関する研究**

研究課題：RFID マイクロチップを使用した微小肺腫瘍マーキングと腫瘍切除

1. 研究の対象

2020年2月1日以降に、福岡大学および研究参加施設において、RFID マイクロチップを使用したマーキングを行って肺切除を受けた方が対象となります。研究期間は、2026年12月31日までの予定であり、聖路加国際病院からは2021年11月30日までに手術を受けた方を対象とします。

2. 研究の目的・方法

小さな肺病変の位置を特定し、正確な手術を行うためにはマーキングと呼ばれる処置が必要であり、色素や金属の針などが用いられていますが、精度や安全性に課題が残されています。RFID マイクロチップを用いたマーキング方法が新たに開発・承認され、この方法の有効性や安全性を確認するため、対象となった方の情報を調査することがこの研究の目的です。

この研究は、福岡大学を中心として、呼吸器外科の専門診療科をもつ複数の病院で一斉に行われます。通常保険診療の範囲で行われた医療行為について、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査を行います。個人を特定する情報とは切り離した状態で、下記のような情報を福岡大学へ集約し、分析を行います。結果は、学会発表や論文の形で公表することを予定していますが、この際にも個人の情報が特定されるような形を避けて行います。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》 年齢、性別、周術期情報、病情報、画像情報 等

4. 外部への試料・情報の提供

データの提供は、パスワード管理された電子ファイルを共有する形で実施します。共有される電子ファイル上には個人を特定する情報は含まれません。データと研究の対象の方との対応表は、当院の研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

研究代表者：福岡大学 呼吸器・乳腺内分泌・小児外科 教授 佐藤 寿彦

事務局： 福岡大学 呼吸器・乳腺内分泌・小児外科 講師 宮原 聡
参加施設： 山形大学・産業医科大学・京都大学・信州大学
天理よろず相談所病院・福岡山王病院・聖路加国際病院
(研究の開始後、参加施設が増える可能性があります)

以上